

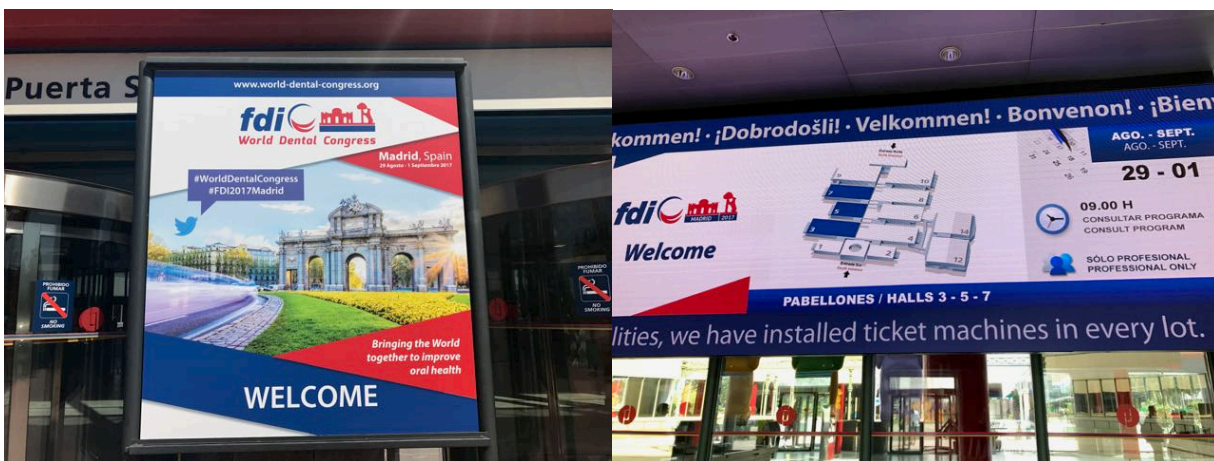
2017年9月3日

FDI 世界歯科会議@マドリッドレポート

2017年8月29日～9月1日に FDI(国際歯科連盟)世界歯科会議(World Dental Congress)がスペインのマドリッドの IFEMA(Feria de Madrid)で開催されました。



FDI は 1900 年設立に設立されたスイス・ジュネーブに本部をおく国際歯科連盟で、日本歯科医師会や日本歯科商工協会をはじめ世界 200 歯科関連団体が参加し、100 万人以上の歯科医師の代表的な組織として、国際的に健康増進政策や継続的教育プログラム、口腔健康推進活動をサポートしております。



FDI 世界歯科会議は今回で第 105 回目の開催となりますが、マドリッドでの開催は第 4 回目の開催となります。スペインは日本の約 1.3 倍の国土に、46 百万人の人口と欧州の中では 5 番目に人口の多い国です。そして、その首都マドリッドは人口 3.3 百万人の国際都市で、フラメンコや闘牛、サッカーや、ピカソの「ゲルニカ」を所有するソフィア王妃芸術センターや、多くの有名作品があるプラド美術館など観光客にも人気の都市での開催です。

EuroStat の統計によれば、欧州で約 33 万人の歯科開業医のうち、約 1/10 がスペインにおり、大陸で 4 番目に大きな市場となっております。総人口・歯科医師数ともに日本の約 1/3 くらいの市場規模のスペインですが、歯科市場の成長率は年間 2%と推定されています。

尚、スペインでの歯科大学は公立 12 校、私立 9 校の全 21 校で卒業生は 1,500 名。特筆すべきは女性の割合が 67%と約 2/3 を占め、臨床歯科医師に占める女性の割合も 57%と多くの女性歯科医師が活躍していることです。世界歯科会議会場でも女性が多く感じました（スペイン臨床歯科医師数 32,636 名、歯科衛生士 14,600 名、歯科技工士 13,000 名、歯科助手 39,000 名）。



そんな、スペイン・マドリッドでの FDI 世界大会の開催で、予防、保存修復、エンド、歯周病、義歯、インプラントなど歯科の各分野で 130 プログラムもの興味深い公演が行われましたが、その中でも特に注目を浴びたのは、2015 年に提案されたグローバル歯周病プロジェクト（GPHP）の発起会として開催された歯周病に関する世界口腔保健フォーラムです。

世界的歯周健康を題材にした今回の世界口腔健康保健フォーラムでは、「歯周病の重要性」「歯周病の予防と治療の可能性」「現在の問題と推奨される措置」につき、それぞれのプレゼンテーションが行われた後、それぞれの発表についてのパネルディスカッションが行われました。世界の成人の 90%もの人々が何らかの歯周組織疾患に罹患していることは大きな社会的損失ですが、FDI は今後 3 年間（2017-2019 年）で、歯周疾患予防に関する戦略的啓蒙活動を行う「グローバル歯周健康プロジェクト（GPHP）」をこの今回のフォーラムから始動しましたが、非常に有意義な会でした。



世界口腔保健フォーラムは、FDI 会長の Dr. Patrick Hescot 氏の挨拶から始まり、「全身健康にも大きな影響を及ぼす口腔健康の大切さを多くの人に知ってもらう必要がある」「今後、現状分析と将来展望をまとめる白書はプロにはもちろん、一般人にもわかりやすくすべきだ」「WHO にもしっかりリスクファクターを理解してもらい、WHO レベルから発信してもらうことが重要」「歯周病患者の割合が 20 年前とさほど変わらず未だ世界で多い現状も認識しつつ、アプローチの見直しも必要かもしれない。スウェーデンでは歯周病の割合も減っているが、他国との大きな違いは教育にある。小さな頃から口腔健康の大切さを学びケアする習慣がつくことが大切」など、総勢 13 名の発表者・パネリスト・コーディネーターはもちろんのこと、聴衆からも多くの意見があり非常に活発な議論がなされました。

昨年の世界口腔保健フォーラムの内容は FDI の HP にて動画公開がされておりましたので、今回の内容もまた公開されるかもしれません。ご興味頂いた方は、一度ご覧になって頂いても面白い内容かと思えます（現時点では未公開ですが、前は 9 月末に公開されました）。

FDI の推進する「グローバル歯周健康プロジェクト (GPHP)」では、歯周病の重要性を認識し、口腔衛生及びその他医療従事者、教育者、政策立案者が歯周健康を促進することによる、歯周疾患の影響を軽減することを目指していますが、グローバルでの歯周健康に対する意識向上キャンペーンや、白書作成、政策提言など、今後の動きも楽しみな活動です。2000 年に FDI が提唱した MI (Minimal Intervention) の考え方は GC ほかに多くのメーカーも同調し、製品開発やイベント/広告などで大きく広まりましたが、その歯周病版として今後の大きな潮流として広まる可能性もある取り組みにご注目ください。

多くの興味深いセミナーが開催される中、併設展示会会場では 200 社以上もの歯科関連企業が出展し、最新機器の説明などを行っておりましたので、下記紹介させていただきます。

① 予防関連企業ブース

今回、大きな注目を集めていたのが、前述「グローバル歯周健康プロジェクト（GPHP）」のパートナー企業でもある EMS、グラクソスミスクライン(GSK)の展示です。



EMS では、う蝕や歯周病の原因となるバイオフィルムを除去・コントロールするための『GUIDED BIOFILM THERAPY(GBT)』を大きく打ち出し推奨しておりました。今までのスケーラーなどでは、歯質を傷つけたり、痛かったり、届きにくい部分があったりし、また痛いことにより患者のリコール率も下がってしまうことも多くありました。

GBT では『診断→ディスクローズ（染め出しでバイオフィルム明示）→患者さん動機付け→染め出しで分かりやすくなったバイオフィルムをエアフロー/ペリオフローで除去→(必要あれば)バイオフィルム除去で見えやすくなった歯石をピエゾンで除去→最終確認しフッ素塗布でコントロール→患者さんにリスクアセスメントを行った上、リコール』といった流れにより、「痛くなく」「気持ちよく」「歯質にも優しく」患者さんにリコールに来てもらい、患者さんの口腔を守るというガイド付きバイオフィルムケアです。患者さんリコールのサイクルまで繋げやすい仕組みに多くの注目が集まっておりました。

また、GSK で GPHP パートナーとして何を推奨しているか聞いたところ、VR での 3D 画像を使用して歯周病に対する「Parodontax」という重炭酸ナトリウム入りの歯磨剤の効果を紹介してもらいました。製品説明も面白いですが、教育用に VR を使っても面白そうです。



他にも予防製品大手の各社は、FDI 展示会会場で大きなブース展示を行い、多くの来場者の注目を集めておりました。

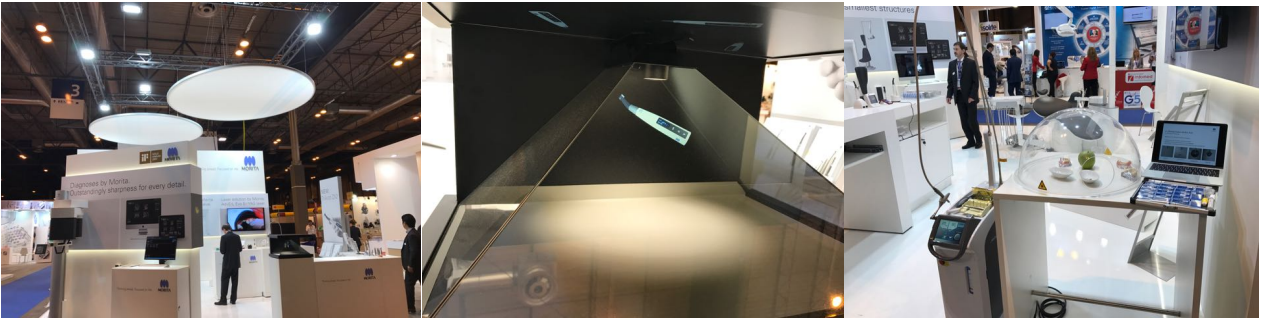
② 日本企業ブース



世界で15社しかないFDIパートナー企業の1社でもあるGCは、日本企業の中でも一番大きなブース、全体でも5番目くらいに大きなブースを構えて大きな注目を浴びておりました。同社でまず注目を浴びたのは口腔内スキャナの『Aadva IOS』です。FDI世界会議新聞の裏表紙全面でも紹介されておりましたが、多くの方がGCの新型スキャナに注目しておりました。ほか、同社のCAD/CAM関連製品、インプラント、日本でも人気のセメントやボンドなど各種製品が紹介され、世界中の多くの方々の注目を集めておりました。



また、大きな展示ブースを構え、多くの人々の注目を集めていたのは「ナカニシ」ブースです。世界的にシェアも高く大人気の同社タービンやマイクロモーターなどのインストゥルメントほか、日本の『ビバエース』とは少し違った形のポータブルユニットや、日本では未発売の超音波スケーラー✕パウダーメンテナンス『バリオスコンビプロ』や、日本発売未定のBクラス滅菌器『I Clave Plus』、日本でも人気のSクラス滅菌器『I Clave mini』など多くの製品が展示され、来場者の視線を集めておりました。



スタイリッシュなモリタブースでは、IDSで発表した『トライオート ZX2』を、3Dのホログラムも用いてカッコよく表に展示すると共に、各種インスツルメント、痛みの少なく、う蝕歯無痛的窩洞形成などでもできる Er.YAG レーザーの『アーウィン』などを展示しておりました。アーウィンは1年ほど前から世界市場向けにも発売開始したとのことですが、体験できるコーナーを設けて来場者に体験して頂いておりました。歯科の世界的出版社 DTI(Dental Tribune International)の雑誌 ROOTS でも、4面にわたりエンドでの使用法が紹介されるなど、日本の人気レーザーも世界認知が広がっております。



その他にも多くの日本企業が出展し、世界に向けての情報発信を行っておりました。松風では新発売の『アイススペシャル C-III』が大きな注目を集めており、サンスターは柔らかい歯間ブラシの『ソフトピックス』を大きく宣伝しておりました。また、山八歯材工業ではレジン歯や CAD/CAM 材料の紹介をしておりました。他、日本ではライオンと組み、唾液から、う蝕リスク、歯周病リスク、口臭などがすぐわかる『サリバリーマルチテスト』を提供するアークレイがサリバマルチテストの同社ブランド製品『スポットケム ST』を紹介し、世界に向けて情報発信しておりました。世界中から集まった多くの方々が、日本の技術が詰まった多くの製品をご覧になっておりました。

③ 海外大手企業ブース



世界中からのドクターが集まるこの機会に、海外メーカーも多く出展しておりました。FDI パートナー企業でもあるプランメカは、今回の展示会では最大級のブース展示で、同社の CT、ユニット、CAD/CAM システムを展示しておりました。また、隣に出展していたスペイン大手歯科ディーラーの「プロクリニック」でもプランメカの新型 CAD/CAM システムが大きく紹介されるなど、スペインでのプランメカのプレゼンスが高いように感じました。同じく FDI パートナー企業のイボクラビバデントでは、前回 IDS で発表した新型 CAD/CAM システムを目立つ所に展示し、こちらも多くの方の注目を集めておりました。

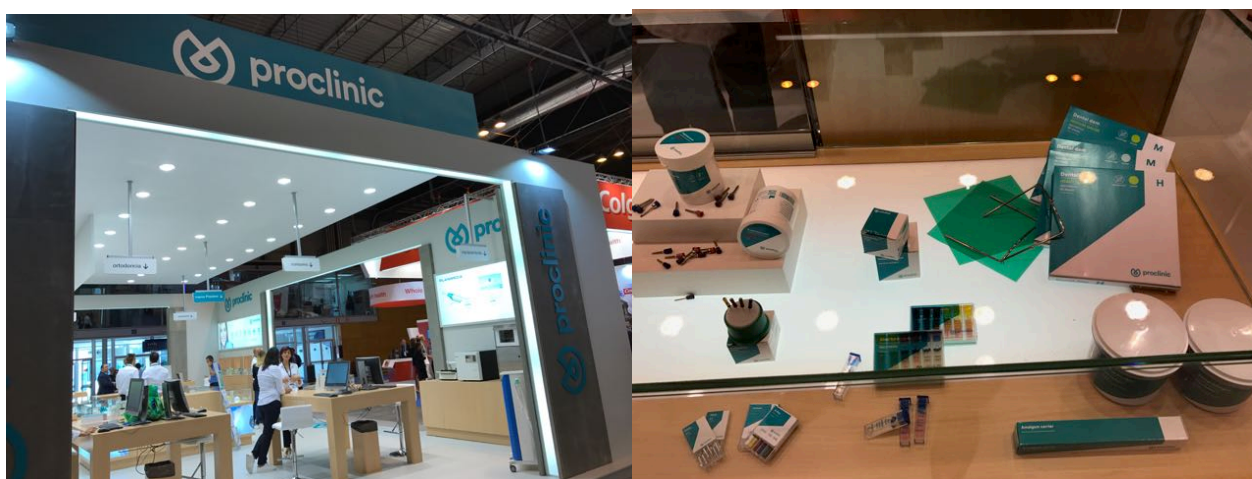


また、デンツプライシロナでは、人気のウェーブワンゴールドから、日本ではまだ未発売の『X スマート IQ』『3D エンドソフトウェア』など気になる製品を展示。他スイス歯科材料大手の COLTENE からは日本でも人気のエンド製品はもちろん、印象材・CR、ブロックなど幅広く展示、他大手各社も前回 IDS での新製品等を展示し、多くの方がご覧になっていました。

④ スペイン企業ブース



スペインの首都マドリッドでの開催とあってスペイン企業も大きなブースで出展しておりました。まず目立ったのは、会場の中でも3-4番目に大きなブースで派手に展示を行ったZiacom社です。2004年に地元マドリッドで設立されたインプラントメーカーですが、2017年はアメリカ上陸と共に、グローバル展開を図っていききたいとのことでした。トルコ、コロンビア、ドミニカ、ポルトガルのディストリビューターと契約を結ぶと共に、イタリア、チリ、アルゼンチン、メキシコ、イギリスなどの企業とも交渉中の同社は、4,000 m²の新しいテクノロジーセンターをマドリッド・ピントに建設計画と拡大路線で元気な企業でした。



また、大きな出展で目立ったのは、スペインの大手歯科ディーラーProclinicのブースです。プランメカブースの真隣で、同社CAD/CAMシステムの紹介も大きくされるなど、プランメカとの関係の深さも感じた同社ですが、統一されたデザインでの同社オリジナルブランドでの商品群も多く、30年以上地元根付いたディーラーとして活躍しており、スペインにとどまらず他欧州諸国にも販売を行っているようでした。普段は訪問しない様々な国を訪れ、その国で活躍する企業のそれぞれの実態を感じることができるのも毎年開催国の違うFDIの大きな魅力の一つです。

⑤ 各国企業ブース



各国の企業が集まった国別パビリオンで、一番大きく、まず目立ったのが中国です。雑品から、タービン、オートクレーブ、レーザー他、様々な製品が展示され、多くの人の注目を集めておりました。



アメリカは2番目の規模で、ビスコ社など他展示会では大きな個別ブースを設けることのある企業も今回は国別ブースで展示を行っていました。



国別展示での規模ではその後、韓国、ブラジルと続きますが、小さなスペースでもカッコよく見えたのが、ブラジルのオープンスペース展示。展示方法も勉強になります。

⑥ 出版社ブース



出版社も大きなブースを構えて情報発信を行っておりました。本・新聞・雑誌などの印刷物に加え、デジタルメディアでも多くの情報発信を世界 90 カ国以上に行う DTI(Dental Tribune International)はドイツ・ライプチヒに本拠地を置く出版社ですが、FDI メディアパートナーとして、FDI 新聞なども同社が作成しております。そんな同社で、大きく宣伝していたのは『DT Study Club』というネットでのスタデイサイトです。会員登録は無料で、どこでもいつでも多くのコースを受講できると大きく宣伝しておりました。日本向けにも DTI デジタルメディアの日本語版サイトも運営されているので、一度ご覧になっても面白いかもしれません。

また、同じくドイツのベルリンで設立されたクインテッセンスも、世界中に多くの書籍・雑誌・DVD・シンポジウムなどを提供しておりますが、同社も大きめなブースを構え、同社の多くの出版物・本を展示しておりました。歯科出版物でも影響の大きいドイツ両雄の動きも面白いです。

⑦ 展示会関連ブース



次回 FDI や、各国で今年・来年に行われる展示会の紹介も多く行われておりました。今年 11 月はグレーターニューヨーク、来年 2 月には AEEDC DUBAI、来年 5 月には ASIA PACIFIC DENTAL CONGRESS@マニラ、来年 6 月には SINO DENTAL@北京など、それぞれの展示会の広告も行われていました。

FDI は、日本歯科医師会や日本歯科商工協会をはじめ世界の 200 もの歯科関連団体がメンバーを構成し、歯科界を代表して WHO などへも情報提供を行い、WHO から発信される情報は各国の厚労省のような政府機関にも広く知れ渡ります。そんな FDI が歯周疾患予防に関する戦略的啓蒙活動を行う「グローバル歯周健康プロジェクト (GPHP)」の発起会となった「世界口腔健康保健フォーラム」や、130 もの各種セミナー、各国企業の展示会など、FDI 世界歯科会議は非常に有意義で面白みのある会でした。



最後に…

最後まで長いレポートをお読み頂き誠にありがとうございます。今回の FDI は、開催直前 8 月 17 日にはバルセロナで多くの死傷者を出した車両突入テロもあり一抹の不安もありましたが、訪問してみるとテロ後を全く感じさせない明るい雰囲気のある街マドリッドで、盛況な FDI 世界歯科会議でしたが如何でしたでしょうか。新製品という意味では、IDS 後にてさほどはありませんが、世界歯科界を代表して色々な情報発信を行っていく場にて、皆様に少しでも面白みを感じて頂ける情報との出会いがあれば幸いです。

次回の FDI は 2018 年 9 月 5-8 日にアルゼンチンのブエノスアイレスで開催されます。

牛肉の美味しさは世界一との話もあるほどの牛肉大国でワインも美味しい同国。赤身が多いも柔らかくジューシーなアルゼンチン産牛肉と、アルゼンチン産ワインのマルベックの組み合わせを楽しむのも面白いかもしれません。タンゴや、素敵な街並み、サッカーや、少し足を伸ばせばイグアスの滝など大自然と見所も多い国です。地球の裏側でなかなか行く機会はない同国ですが、このような機会に一度訪れてみては如何でしょうか。

私共、歯科ディーラーにとって第一の努めは、歯科医療従事者の皆様へ『よい情報、よい製品』をいち早く正確にお届けし、『歯科医療従事者の皆様へのお役立ち』をすることだと考えております。そして、歯科医療従事者の皆様へのお役立ちを通じて、皆様の笑顔や健康に少しでも寄与できたら良いと考えております。

『人々の笑顔、健康に寄与することを目指して!』今後とも歯科医療従事者へのお役立ちを第一に、様々な情報発信に努めて参りますので、引き続きご愛顧のほど、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

以 上

(取材・編集)株式会社シラネ 代表取締役 榊原利一郎